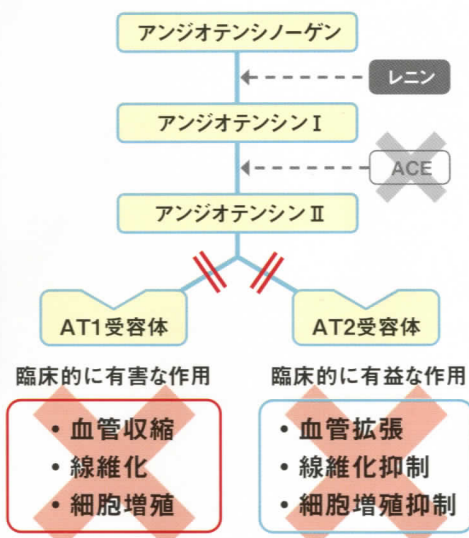


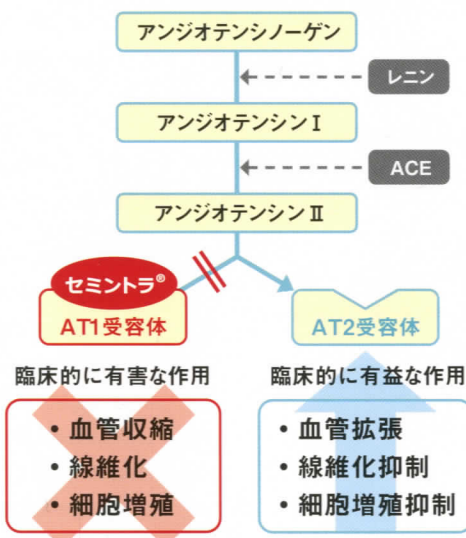
- ◆CKDの薬物治療においては、レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系(RAAS)の抑制が一般的な治療方法です。
- ◆RAASによる臨床的に有害な作用だけを選択的に抑制することができれば、より効果的に腎臓障害の進行を抑えることができる可能性があります。

アンジオテンシンⅡが作用する受容体には『2種類』あります。  
『タイプ1=AT1受容体』『タイプ2=AT2受容体』

●ACE阻害薬のRAASにおける作用機序



●セミントラ®のRAASにおける作用機序



セミントラ®は  
アンジオテンシンⅡの  
有害作用を  
選択的に阻害し  
有益な作用を  
保持します

Givertz M. M. : Manipulation of the Renin-Angiotensin System, Circulation, 104: e14-e18, 2001.

## セミントラ® 4mg/mL経口服液猫 動物用医薬品 要指示

- セミントラ®は、アンジオテンシンⅡの作用部位におけるAT1受容体を選択的に阻害するため、CKDの病態に対する悪影響だけを選択的に抑制します。
- セミントラ®はAT1受容体を選択的に阻害することで、AT2受容体に作用するアンジオテンシンⅡ濃度は上昇する可能性があり、その結果、CKDにとって臨床上有益な作用が増強されることが考えられます。

Burnier M. et al. : Angiotensin II Type 1 Receptor Blockers, Circulation, 103: 904-912, 2001.  
Givertz M. M. : Manipulation of the Renin-Angiotensin System, Circulation, 104:e14-e18, 2001.



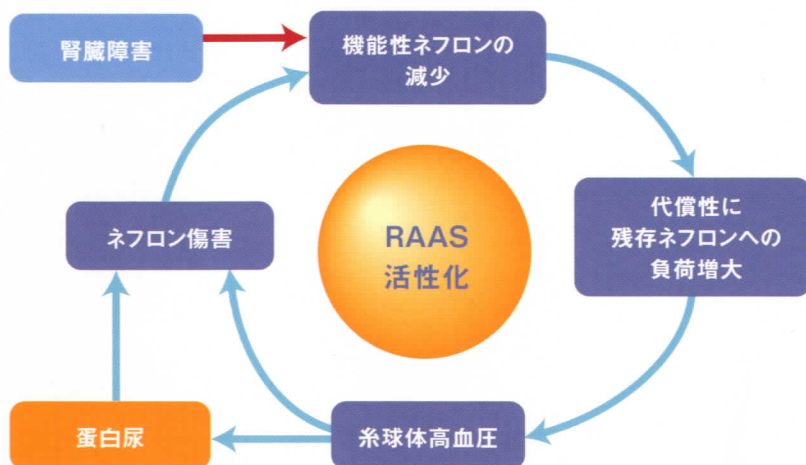
※製品の使用にあたっては、添付文書を参照してください。



ベリンガーインゲルハイム ベトメディカ ジャパン株式会社  
〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower  
お客様相談窓口：0120-406-906

お問い合わせは…

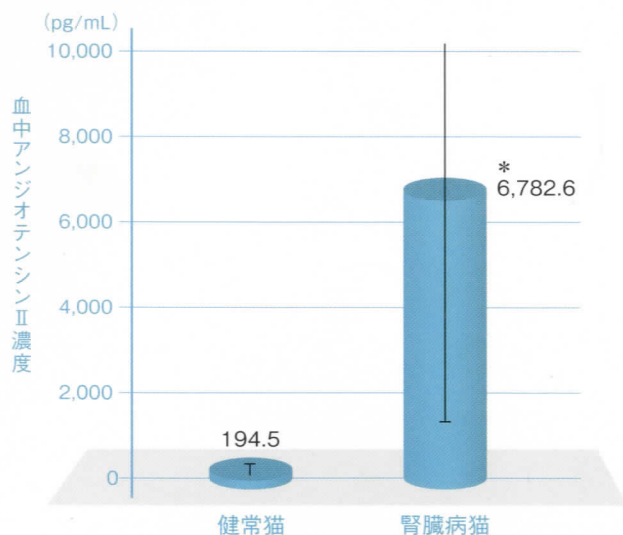
## レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系 (RAAS) の活性化は慢性腎臓病 (CKD) を悪化させます



- CKDにおいて、ネフロンの減少によりRAASが慢性的に活性化し、残存するネフロンに負荷がかかることがわかっています。
- その結果、糸球体高血圧や蛋白尿が引き起こされ、残存するネフロンにさらに傷害が加わり、減少していきます。
- この悪循環を止めるためにACE阻害薬やARB\*などを使うことが重要とされています。

\*ARB:アンジオテンシンII受容体阻害薬

## 腎臓病の猫において、RAASは活性化しています



\*: 健常猫と比較して有意差あり(P<0.05)

- 猫は腎障害の多くが尿細管間質性腎炎に由来しており、RAASの活性化がその間質の線維化に大きく寄与することがわかっています。
- 間質の線維化の進行は、やがて、糸球体濾過量の低下を招き、それに合わせて、Creの上昇が始まります。
- RAAS活性化を抑制することが間質の線維化を抑え、糸球体濾過量の低下を抑えることにつながるため、より早期からのRAASコントロールが必要となる訳です。



北里大学獣医学部  
小動物第2内科学研究室  
星 史雄先生

Mishina M., Watanabe T., Fujii K., et al.: Non-invasive blood pressure measurements in cats: clinical significance of hypertension associated with chronic renal failure, J Vet Med Sci, 60(7): 805-8, 1998.

# 猫用 慢性腎臓病用 AT1受容体阻害薬 セミントラ® 4mg/mL経口液猫の概要

## 【有効成分及び分量】

本品1mL中、下記成分を含有する。

テルミサルタン4mg

## 【効能又は効果】

猫：慢性腎臓病（慢性腎不全）における尿蛋白の漏出抑制

## 【用法及び用量】

本剤を1日1回、体重1kg当たりテルミサルタンとして1.0mgを、添付の計量シリンジを用いて直接経口投与する。必要な場合には少量（小さじ程度）の食餌に混ぜて投与する。

## 【使用上の注意】

### ●一般的な注意

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (3) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

### ●使用者に対する注意

- (1) 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- (2) 本剤が眼に入らないように注意し、誤って眼に入った場合は水で眼を洗浄すること。
- (3) 本剤を取り扱った後は手を洗うこと。
- (4) 本剤のようなアンジオテンシンII受容体阻害薬（ARBs）は妊娠中に胎児へ影響を与えることが分かっているため、特に妊婦は本剤を誤って経口的に摂取しないように注意が必要である。
- (5) テルミサルタンやその他のアンジオテンシンII受容体阻害薬に対する過敏症を有する場合は、本剤への接触を避けること。

### ●猫に対する注意

#### 1. 制限事項

- (1) テルミサルタン及びその他の成分に対する過敏症の場合には、本剤を使用しないこと。
- (2) 本剤は6カ月齢未満の幼若猫に対する安全性及び有効性は確認されていないので、6カ月齢未満の幼若猫には投与しないこと。
- (3) 本剤は体重が2kg未満の猫に対する安全性は確認されていないので、体重が2kg未満の猫には投与しないこと。
- (4) 妊娠及び授乳中の猫に対する安全性は確認されていないため、妊娠及び授乳中の猫には投与しないこと。

#### 2. 副作用

- (1) 本剤の投与により、まれに嘔吐、軟便、下痢がみられることがある。
- (2) 肝酵素の上昇がまれに認められるが、休業により数日中に回復する。
- (3) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (4) 本剤には血圧降下作用があるため、虚脱あるいはふらつきが現れることが考えられる。低血圧の臨床所見が認められた場合には、輸液療法などの対症療法を行うこと。
- (5) 本剤の薬理活性に起因する影響として、推奨用量においても赤血球数の減少が認められるため、本剤による治療中は赤血球数をモニタリングすることが推奨される。

## 3. 相互作用

- (1) ノンステロイド性消炎鎮痛剤（NSAIDs）との併用は本剤の降圧作用を減弱させることがある。
- (2) 他の血圧降下剤（利尿剤、ベータ遮断剤等）と併用すると本剤の効果が高まる可能性がある。

## 4. 適用上の注意

- (1) 本剤による治療中は赤血球数をモニタリングすることが推奨される。
- (2) 過量投与（臨床推奨用量の3～5倍量を6カ月間投与）により血中尿素素（BUN）の上昇が認められた。
- (3) 過量投与（臨床推奨用量の3～5倍量を6カ月間投与）により著明な血圧低下が認められた。
- (4) 慢性腎不全の尿毒症末期の症例に対して本剤投与による効果は確認されていないため、本剤の投与は避けること。
- (5) 急性腎不全の症例に対して本剤の投与は避けること。
- (6) ラットを用いた毒性試験においては血漿中のカリウム値の上昇が認められていることから、高カリウム血症を呈する猫への投与は慎重に行うこと。
- (7) 本剤の対象となる慢性腎臓病の診断は国際獣医腎臓病研究グループ（IRIS）等の一般的な診断基準を参考にし、尿蛋白及び臨床症状を考慮して行うこと。承認申請時の臨床試験では、主にIRISのステージII及びIIIに該当し、かつ尿蛋白/尿中クレアチニン比（UPC値）が0.2以上である症例を対象として有効性及び安全性を確認した。

### ●取扱い上の注意

- (1) 投薬後は容器のキャップをしっかり閉めること。
- (2) 本剤への他の物質の混入を防ぐため、計量シリンジはセミントラの投与にのみ使用すること。
- (3) 投与用シリンジは、必要に応じて乾いた清潔な紙または布でふき取ること。
- (4) 使用期限を過ぎた場合は使用しないこと。
- (5) 容器開封後の使用期限は6カ月である。
- (6) 使用済みの容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (7) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

### ●保管上の注意

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (3) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

【貯法】 気密容器、室温保存

【使用期限】 ラベル・組箱に記載

【包装】 30mL×1ボトル



※ボトル及び添付の計量シリンジの使い方については、使用説明書裏面の使用の手引きを参照してください。

●使用上の注意、その他詳細につきましては、製品に添付されている使用説明書をご覧ください。